



セネガルの子どもたちに教育を！

バオバブの会 ニュースレター

2019年 No.4
(通巻61号)
9月30日発行

スポーツの秋、読書の秋、音楽の秋、旅の秋等々、何をしても快い季節となりました。皆様はこの秋をどのように楽しめるでしょうか。

今号のニュースレターは福引き2019のお知らせを中心にお届けいたします。バオバブの会として最後の福引きイベントとなりますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

イベント報告

** 第8回GOSPEL FOR PEACE **

日時：2019年8月4日（日）15：30開場 16：00開会

場所：目黒パーシモンホール

主催：NGOゴスペル広場

「ゴスペル×国際協力 楽しい時間のために使ったお金が、別の場所で大きな力になる」を合言葉に、ゴスペルの輪を広げるNGOゴスペル広場が主催するチャリティコンサート。今回も、全国各地のゴスペルファミリーが一堂に会し、会場いっぱいにハートフル&パワフルな演奏を繰り広げました。

バオバブの会は、ロビーの国際協力ブースにて、ケベサック、アクセサリー、アフリカ関連絵本、書籍などを販売し、たくさんの皆様にご購入いただきました。

ディウフ会長の活動

** 第7回アフリカ開発会議横浜開催連携事業 『アフリカに触れよう！』 **

日時：2019年8月1日（木）10：00～11：30

会場：横浜市岩間市民プラザ 4Fホール

共催：保土ヶ谷区地域振興課 ほどがや国際交流ラウンジ

セネガルとアフリカの話、紙芝居、楽器体験、ゲーム、民族衣装体験と盛りだくさんのイベントで、ディウフ会長が講師を務めました。夏休みの子ども向けイベントでしたが、付き添いの親御さんも一緒に、アフリカの文化を大いに楽しんでいただきました。

** 第7回アフリカ開発会議横浜開催連携事業 『体験！ セネガル物語』 **

日時：2019年8月25日（日）10：00～15：00

会場：Kosha33スタジオ

主催：AFRICULTURE 後援：公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団

音楽を通してセネガルの文化を知るイベント。

コンサート、体験型コンサート、アフリカンプリント布のコラージュによるトートバッグ作りワークショップなど、盛りだくさんのイベント。高校2年生の夏、ひとりでアフリカルチャーのセネガル体験に参加したR.K.さんが、セネガルで撮影した写真の展示もありました。

ディウフ会長はセネガルの民話を紹介しました。

イベント案内

*** 福引き2019 ***

バオバブの会最後の福引きイベントを開催いたします。

賞品は、セネガル、またアフリカの魅力をお伝えできるような、民芸品、アクセサリ、音楽CD、アフリカ関連児童書などに加え、現地の女性グループ製作のアフリカンプリントの布製バッグ「ケベサック」も、多数ご用意しています（空くじはありません）。

福引きチケットは、1枚1,000円です。

多くの皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

★購入ご希望の方は、次の方法でお申し込みください。

1. お近くのバオバブの会会員にお声をかけてください。
2. バオバブの会ホームページ内のinfo.the.baobab.assoc@gmail.com「お問合せはこちら」に、「福引きチケット購入希望」、枚数、お名前、ご住所、お電話番号を明記しお申し込みください。

※福引きの抽選は12月8日(日)「バオバブパーティ」（下記詳細）にて行います。

*** バオバブパーティ2019 ***

★★ひと時のセネガル体験をご一緒に楽しみましょう★★

日時：2019年12月8日（日）13：00開場 13：30開始 15：30終了

会場：アフリカ料理レストラン『カラバッシュ』 <http://www.calabash.co.jp/>

〒105-0013 東京都港区浜松町2-10-1 浜松町ビルB1
JR「浜松町」南口S5階段金杉橋方向出口（S5階段）よ歩90秒
都営浅草線&大江戸線「大門」駅B2出口より徒歩4分
都営三田線「芝公園」A3出口より徒歩6分

会費：1,000円

（美味しいセネガル料理の軽食と飲み物つき）
当日、受付にてお支払いください。



内容：セミナー「セネガルのじゃれ合い関係 — 平和と寛容の知恵（仮題）」、活動報告、福引き抽選会、

ミニライブ

★ミニライブ出演者

SALIOU

西アフリカ、セネガル出身ヴォーカリスト。何代も続く世襲制の伝統伝達者「グリオ」家系に生まれ、その非凡な才能は伝承歌手として注目を集める。その音楽の才はとどまるところを知らず、伝承音楽を超えてセネガル・ポップ・ミュージックにも登場。またたく間に若い世代の音楽シーンを牽引する実力派歌手の一人として認められる存在となった。2019年よりSaliou Gningue Japan Projectとして日本での活動をスタート。ジャズ、ロック、レゲエ、アンビエントの要素にサリウの圧倒的なヴォーカルが新たな世界観を創り出している。2019年7月に Saliou Gningue Japan Project ミニアルバム「SALIOU」をリリース saliougningue99.wixsite.com/saliou

★アフリカグッズミニバザーも行います！ご家庭に眠っているアフリカ関連の衣装、雑貨、本、CD、楽器等ありましたら、ぜひお持ちよりください。

★定員：40名

福引きチケットを購入された方もされなかった方も、どなたでもお申込みできます。

先着順の受付となりますので、参加ご希望の方はお早目に下記の方法でお申し込みください。

★お申し込み方法：

バオバブの会ホームページ内<http://the-baobab.org/index.html>の「お問合せはこちら」info@the-baobab.orgに、「バオバブパーティ参加希望」、お名前、ご住所、お電話番号を明記しお申し込みください。

★★★★ ことわざで開く、アフリカ文化の窓 ★★★★★

第31回 アフリカと日本の婚約、やるなら今！

エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

(訳・文責 水野)

TICAD 7 (第7回アフリカ開発会議 8月28日～30日 横浜で開催) が閉会しました。今回はアフリカ開発政策についての日本側の視点にひとつの変化が認められました。それは支援から投資への転換といったもので、今後は一方的な支援ではなく、アフリカのすべての地域と日本との間にビジネスチャンスを生み出し、双方が利益を得る方向を目指すことになるようです。

この変化を受けて、日本とアフリカの双方に教訓となりそうな、セネガルのことわざを紹介しましょう。日本に対しては、この新たな政策の中で躊躇することなく行動を起こすことを促すもの、そして、アフリカには、歴史の中の負のページ注1を繰り返すことのないようにと警告します。

日本への助言は「最初にもらえ！」注2です。何かの配分があるときは、いつも、最初にもらう人が一番良いものをたくさんもらえるものです。日本は長い間躊躇していました。しかし、もう充分です。ためらうのは止めて、直ちに動いてください！また、日本は、常に、アフリカはあまりに遠すぎると思っていました。アフリカは見知らぬ大陸であり、すべてが原始的で、そこに住む人々は自分たちとは全く違う暮らしをしていて、全く違うように考え、全く違うように話している。何もかも我々とは違うのだから、彼らと一緒に何もしないと考えてきたのです。それは大きな間違いです。日本がこうして躊躇している間に、アフリカが形成する市場の最上の部分を占めようとして、他の国々がどっと押し寄せてきました。

ヨーロッパの国々は、一番にアフリカの富を獲得し、その後も長い間、アフリカから多くのものを得てき

ました。ですから、日本が彼らに追いつくことは難しいでしょう。しかし、もし日本が直ちに決意し、これ以上遅れることなく実行するならば、中国、インド、トルコ、ロシアなどのアフリカに新たに進出してきた国々と対等に勝負することができるでしょう。ですから、今は、アフリカへの投資を減らすどころか、増やさなければならないときなのです。それなのに、2016年末と2017年末を比べると、日本のアフリカへの投資の総額は、9兆9900億円から7兆8200億円に減っています。

一方、アフリカに対して贈ることわざは、「足が丈夫なうちに逃げるが良い」注3です。アフリカ開発銀行総裁のアキウミ・エズィナ氏は、今回のTICADの中で、日本側の企業の幹部に向かって、アフリカへの投資の促進を訴えました。「アフリカは、今、世界中の国々から、理想の婚約者のように見なされている」。つまり、アフリカには、多くの国々から競って投資が集まってきているということです。

しかし、アフリカは、永遠に続くものは何もない、ということを知らねばなりません。とりわけ、若さとそれゆえの特権である美しさ、魅力、力、柔軟性といったものは、時とともに失われていきます。そして時の経つのは早いので、あっという間に、結婚を望んでいた人々も去って行ってしまいます。

ですから、アフリカは、今、その魅力を利用して最大限の利益を引き出さなければなりません。今なら、アフリカとのビジネスを求めて押し寄せている国々に対して、正当なビジネスルールを主張し、主導する力を持っているのですから。

ヨーロッパだけがアフリカに関心を持っていたとき、アフリカは、自らを守る武器も、自分たちの利益を守る経済的な力も持っていなかったため、ヨーロッパからの強引な要求と略奪に屈する他なかったのです。しかし、今日、アフリカは多様な選択肢を持っています。ですから、今が、ヨーロッパのくびきをといて、アフリカ自身で、自らの運命と良きパートナーを選ぶときなのです。まさに、やるなら今！です。

注1 奴隷貿易と植民地支配、略奪と搾取の400年間は、アフリカの暗黒の歴史です。

注2 スープが配られるとき、最初の人には、間違いなく十分な量をもたらえます。しかし、最後の人たちは、どれだけもらえるか確かではありません

注3 現在、世界中の国々の関心を引き付けているアフリカの豊かな自然資源も、いつかは底をつくでしょう。その自然資源が、アフリカがしっかりと自立できる足なのです。ですから、アフリカは、この足が丈夫なうちに、現在と未来を生き抜くため、それを有効に、賢く、利用しなければなりません。

バ オ バ ブ の 会

〒240-0052 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町993 - 35 TEL&FAX 045 - 373 - 0059

代表 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

寄付振込先: ゆうちょ銀行振替口座 00200=1 45215

三菱UFJ銀行八重洲通り支店普通口座no. 1523673

★HP: <http://the-baobab.org>

★メールアドレス info.the.baobab.assoc@gmail.com

ホームページ内の「お問い合わせはこちら」からご連絡いただけます。

★Face Bookページ名: バオバブの会The Baobab Association

URL: <http://www.facebook.com/the.baobab.association>